
Oral Presentation

Magnetic Resonance Imaging

座長：松井 知也(日高総合病院)、山崎 勝(都島放射線科クリニック)

Sun. Jan 21, 2018 2:30 PM - 3:20 PM Room1 (2階)

3:00 PM - 3:10 PM

[27]Consideration of procedures of magnetic resonance imaging conditional pacemakers

小西 康彦¹、*酒井 徳生¹、田原 大世¹、常玄 大輔¹、池本 達彦¹、西池 成章¹ (1. りんくう総合医療センター)

【背景】2012年より条件付 MRI対応心臓デバイスが発売され、当院でも同デバイスの埋め込み術を行っている。当院での同デバイス埋め込み件数が増えるにつれ、実際に MR検査を依頼される可能性も高くなる。そこで、より安全に MR検査を実施することを目的に、撮影依頼から検査終了までの手順を関連職種で検討を行った。今回、検討開始から現在までの取り組みについて報告したい。

【方法】条件付 MRI対応心臓デバイスおよび MR検査の基礎知識について臨床工学技士と情報共有を行い、撮影に対する基本方針（当院埋め込み患者、ペースメーカー外来受診、予約検査のみ）、および検査終了までの手順を作成した。作成した手順は電子カルテ等のメール機能を利用し院内に周知を行った。実際に症例を経験した後、関係者でミーティングを行い手順の見直しを検討した。

【結果・考察】運用開始後、基本方針に合わないケースや2回目以降の検査依頼等想定外のケースを経験した。また、より安全な受け入れ体制へと事前準備物に変更等を行った。今後、デバイスの種類増加や3.0T装置対応等が進むと思われる。院内対応としても、他施設での埋め込み患者への対応、緊急時の対応など課題が多い。